

自治会活動事例報告

天ヶ瀬町自治会 相談役 野末 信義

平成21年の役員任期の改正に始まった天ヶ瀬町の自治会組織改革については4年前の平成26年10月30日に「自治会組織再生の試み」と題し、その取り組みについて報告させていただきました。本日は、さらに4年を経過した現状について報告いたします。

組織見直しの経過

組織見直しの背景	取り組み項目	結 果	備考
第1支会より自治会長任期2年の要請		平成22年より任期2年となる。	
<p>●パイパス問題</p> <p>町内の第1自治会、第2自治会をそれぞれ分断する形での工事が始まる。</p> <p>●青梅大祭をめぐる問題</p> <p>旧住民と新住民の軋轢・確執など自治会が運営することが重荷に。</p> <p>●神社の運営に支障が生じる。</p> <p>30余年にわたり、神社を執りしきりされていた方のご逝去により支障が。</p> <p>●相次ぐ大規模災害の発生</p>	<p>平成22年組織見直しを提案。検討委員会の設置。</p> <p>1、自治会の統合・運営組織見直し検討委員会。{座長として参画}</p> <p>2、青梅大祭運営組織検討委員会</p> <p>3、神社運営組織検討委員会</p>	<p>このままだと自治会がダメになり地域が壊れるとの強い危機感から、組織見直しを提案。</p> <p>23年4月の定期総会において5年度実施を目途に計画案をまとめることになった。</p> <p>左記の3つの検討委員会において約1年余りの時間を有し、平成24年5月自治会に答申。</p>	<p>22～23年自治会長 23年 支会長</p> <p>自治会長研修 日立市塙山学区の活動の在り方に刺激される。</p>
	<p>24年度自治会 {久保田勇会長} において 答申内容を、回覧や、説明会の開催など、理解を深めるための活動を丁寧に行っていました。</p>	<p>平成24年10月臨時総会にて決議。</p> <p>●自治会統合、事業部制導入など組織改革。</p> <p>●青梅大祭実行委員会の設立。</p> <p>●神社責任役員、神社総代の選任。神社庁届け出。 神社奉賛会の設立。</p>	
	<p>天ヶ瀬町スローガン</p> <p>安心・安全・清々しい町は 地域みんなの願いです。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">少しずつみんなで担う町づくり</p>	<p>25年4月1日より天ヶ瀬町自治会が発足。</p> <p>1期目は、新しいシステムに馴れる期間となりました。2期目以降は事業部の活動が活性化してきました。例、民生委員の増員、買い物送迎バス 町内お助けマン、</p>	<p>自治会長に再登板 平成28度まで。</p> <p>現在は相談役</p>

組織の見直しの中身

改革目標	取り組んだ項目	取り組んだ結果	ポイント
<p>イベント主体の活動から 日常に役立つ活動への転換 「安心・安全・清々しい天ヶ瀬町」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自治会の果たすべき役割の明確化 ●青梅大祭・神社の運営組織を自治会よりの切り離して立ち上げ。 	<p>○やるべきことがはっきり見えてきた。</p> <p>○地元住民と新たな住民との確執がなくなり、それぞれの運営もスムーズになった。</p>	<p>意識改革を徹底。</p>
<p>役員の負担軽減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業部制の導入。 安心・安全・環境 ・ 体育・楽集 ●（隣組制度からの脱却→班長制度） 班長は回覧や取りまとめの事務窓口。 	<p>○各事業部主導による事業や行事、負担が大幅に軽減した。 役員の選出にも好影響</p> <p>○班長の役割を限定的に絞ったことで誰でも無理なくできるようになった。</p> <p>○事業の活性化。 民生委員の増員・送迎バスなど</p>	<p>理解をしてもらうための活動を丁寧に行うこと。</p>
<p>役員の選出方法 全員参加の町づくり 「少しずつ、みんなで担う町づくり」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ボランティア登録制度 導入。 <ul style="list-style-type: none"> ●本部スタッフへの登録 ●各事業部への登録 ● 役員選出方法 ☆本部スタッフは登録に手を挙げてくれた人および各事業部より選出の理事の協議により決定。 	<p>「案ずるより産むが易し」 多くの方が協力してくれました。</p> <p>○各事業部の正副部長（理事）は登録会員の協議により選出。来年は3回目の役員改選となりますが、留任により役員を担っていただける方もおるなど、すでに概ね内定されているとのことです。</p> <p>班長の選出も各班の協議において、スムーズに選出が行われており、5年間留任されている方もおられます。</p>	<p>新しいことには抵抗と・批判が付きもの。覚悟を決めて取り組めたのは、久保田勇氏のおかげ。平成25ら28年まで副自治会長。現在も本部スタッフとして活躍中。</p>
<p>もう一つの課題 自治会加入率への対応 平成19年（75%）⇒26年5月（49%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●未加入者・退会者への聞き取り調査 137世帯 ●協力会員制度を発足、 ●訪問勧誘キャンペーン} 	<p>○本当の理由を肌で感じる事ができた。</p> <p>○加入促進の手順に手ごたえを得る。</p> <p>○現在 平成30年5月60.1%</p>	<p>アクションを起こせば何かが変わる。</p>
<p>今後の課題 常に自治会活動はING</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運営システムの発展・拡充 ●バイパス開通後の安全対策。[信号のある街に]。 ●地域高齢化への対応 安心の環事業部の活動強化 	<p>町内各種団体との協働強化、 交通安全対策。 お助けマン制度、見守り支援など</p>	
<p>本日の報告がすこしでも皆さまの自治会運営のヒントになったなら光栄です。</p>			